

平成30年度		事業報告	
事業方針	教育事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人一人が学び知識を得て実践に生かしている。教員自身学んだことを自分だけでなく他の教員と共有しあい、教員全体の質が向上してきている。また教員同士の信頼関係も深まり、自分だけの判断に任せず、他の教員に相談をかけ、適切な配慮、援助ができてきている。今後もさらに教員間で連携をとり、努めて行きたい。 ・教員全員が新教育要領についての研修会に参加し学んできた。幼児期に育みたい資質、能力を重視していくことが大切であること、子どもの主体性と保育者の意図することを大切にしてきた。その結果子どもたちが生き生きと意欲的に生活する姿が見られた。今後もさらに幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿のとらえ方を深めていきたい。 	
	予算編成の基軸	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料を値上げせず運営してきたが、補助金のお陰で経営できており感謝している。教育に必要な経費は確保できた。今後も安定した運営ができるよう努力していきたい。 	
	具体項目	内 容	
1	教育計画	健康な体と心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・機会を見ては「早寝 早起き 朝ごはん」の話を子どもたちにしている。少しずつ浸透し、子ども自身が行動に移している話も耳に入るようになった。今後も家庭と連携を取り習慣化につなげていきたい。 ・主に年長クラスは子どもたちをできるだけ待たせない工夫を心がけてきた。同学年の先生方で連携をとり合い状況に合わせてクラスの枠を取り外し実践してきた。
2	研究計画	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗したり、間違えたりしたことに対して折れやすい子どもたちを丸ごと受け止めるようにしてきた。できないことはそのままにせず、子どもが負担と思わない程度に機会をもち、自分自身で乗り切り自信に繋げてきた。
3	地域連携計画	地域の方々との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・〈富士見小学校4年生と中学生との交流〉 ・小学4年生、中学生が園を訪問してくれ、全学年の子が小学生と関われる機会が持て、園児は積極的に触れ合いを楽しめた。大きな兄弟がいない子が多いのでとても貴重な体験であった。 ・〈地域防災訓練〉に職員が参加させて頂き、それぞれの役割分担に着き、実践できた。もしもの時に備えられるので、参加させていただき意義を感じている。 ・〈磐田市心の育成事業〉で身近なお年寄りにお誘いの手紙を子ども達が届け、園で触れ合いができ、核家族の子どもたちにはとても有意義な時間となった。 ・〈富士見町・東久保〉のおじいさん、おばあさんと触れ合う。今まで積み重ねてきたものを見て頂いたり、スキンシップを図り互いに有意義な時間となった。
4	施設設計計画	安全点検を重視	<ul style="list-style-type: none"> ・正門の門扉の施錠がしっかりできるようになり、安全面では安心できるようになった。しかし裏門には防犯カメラはついているものの施錠がきちんとできない状況、保護者の方も心配をしている。道路に沿っているので、できれば安全な門扉に改修を考えていきたい。 ・会館のブロック塀が老朽化していて地震等で危険と判断され、急遽国庫補助金を頂き無事再設置できた。ブロックを3段にし、フェンスにしたことで安全で明るくなった。
5	管理運営計画	職員の体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに園全体の子どもを把握しやすい環境にあるので、担任だけに任せず全教員で一人一人の子どもを多面的にみられた。職員会議においても経験がある、なしに捉われず平等な立場で意見交換ができ、互いに聞く耳がもっている。また、学んだことを教員に広められる体制が、教員の質を高めていける源にもなっている。
6	財務計画	適切な予算	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の修繕に優先順位をつけ実施している。財務状況と照らし合わせながら前向きに取り組んできているが、まだまだ課題は残る。